

まちの日記帳



救急車が来るまでに 岬の湯応急手当講習会

4/27

北後志消防組合積丹支署による応急手当講習会が、産業交流雇用対策推進施設（岬の湯しゃこたん）の職員を対象に行われました。

はじめに、救急車が来るまでの応急手当の重要性や救命処置に関する講義を受けた後、実際にタミー人形を使用しての心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使用手順についての実技が行われ、参加した職員はもしものために備え、真剣に取り組んでいました。



勝利へアタック

町内ソフトバレーボール大会

4/27

第22回町内ソフトバレーボール大会がB&G海洋センターで開催されました。大会には、男女混合の部に8チーム35人、女子の部に3チーム12名が参加し、勝利をめざし熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおりです。

【男女混合の部】

優勝 ふるる

準優勝 りんごちゃん

【女子の部】

優勝 女子C

準優勝 女子A



音楽は心の宝もの

リフレッシシユ学級

4/27

今年度第1回目となるリフレッシシユ学級が総合文化センターで行われ、36人が参加しました。今回は、音楽療養士の近藤ひとみさんを招き、「音楽は心の宝もの」と題した講話が行われました。

参加者全員がリズム楽器を使つての即興演奏や、懐かしい歌謡曲などの合唱を通じて、会場はすっかり和やかな雰囲気になりました。

今年度のリフレッシシユ学級は全6回を予定しています。



ルールを守って！

交通安全教室

4/27
4/25
5/9

町内各小中学校は、交通安全指導員会（川井順應会長）と各駐在所警察官の指導のもと、交通安全教室を行いました。

歩行の仕方や自転車の乗り方についての講習が行われた後、各町内の歩道を使つての実践が行われました。

参加した小学生は、自転車走行による右左折や横断歩道の渡り方、歩行の仕方など、一つひとつ確認しながら真剣に取り組んでいました。



健やかに育つてね
こどもの日の会

5/2 5/11

こどもの日の会が5月2日、5月11日に、それぞれ、びくに保育所、みなと保育所で行われました。

園児たちは、この日に合わせて、一人ひとりが作成した、かぶとや鯉のぼりで遊んだり、本物の鯉のぼりを使ったゲームや歌の合唱など、楽しいひとときを過ごしました。

また、びくに保育所では、鯉のぼりの旗やウインナーの入ったお子様ランチの給食が出され、園児の喜ぶ姿が見られました。

◀びくに保育所



みなと保育所▶

自慢の味を召し上がれ
地場産品
販売促進協議会

4/29~5/1 5/3~5/5

毎年の恒例行事となった、町地場産品販売促進協議会（佐藤勝次会長）による焼きホタテなどの販売が、ゴールデンウィーク期間中の6日間、岬の市場前で行われました。

焼きホタテのほか、焼きツブ、ぶた串、積丹産ののりを使ったみそ汁、ツブとたけのこの炊き込みご飯の格安販売に、訪れた岬の湯しゃやこたんの入浴客や観光客らは、積丹自慢の味を楽しみました。



ナイスショットに
ナイスプレー

B & G 杯争奪ゲートボール大会
5/12

第21回B & G 杯争奪ゲートボール大会がふれあいゲートボール場で行われ、3チーム15人が参加しました。参加者最高齢の熊本キミエさん（91）をはじめ、『ナイスショット』を連発していました。

大会の結果は次のとおりです。

【優勝】

美国・余別GB愛好会

【準優勝】

美国GB愛好会

【第三位】

入舸GB愛好会



第1回少年教室
—自然探索体験教室—

5/14

町教育委員会が主催する小学生を対象とした「自然探索体験教室（第1回少年教室）」が町野外スポーツ林スキー場で行われ、小学生や学校関係者など26人が参加しました。

この日は、町山岳愛好会橋場政男さんを講師に招き、春の山菜についての種類や採り方について指導を受けた後、スキー場内を散策。自分たちで採ったフキやギョウジャニンニクなどの山菜をその場で天ぷらにして試食し、季節の味を満喫しました。

